

事務事業名		監査等執行事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	6 -					担当組織	担当部	監査委員事務局	担当課	監査委員事務局
	政策	1 政策体系外						担当係		担当課長名	津布久高明
	施策	1 監査活動の推進					事業区分	新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	3 -						実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	3640	一般	2	6	1	監査等執行事務費					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度	～	年度	根拠法令 条例等	地方自治法 監査委員条例				
							実施方法		直営		
							事業分類		その他内部事務事業		
							リーディングプロジェクト		該当なし		
							市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
地方自治法に定められた監査委員の権限に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに住民等からの請求に基づく監査等を行う。			監査(定例監査、財政援助団体等に対する監査、施設監査)10月～2月 検査(例月出納検査)毎月 審査(決算並びに基金運用状況審査、健全化判断比率及び資金不足比率に関する審査)6月～8月								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
監査・検査等件数			件	60	61	60					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市の全部局			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
課、室の数			課室	60	68	67					
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
各部局等の事務事業の執行が適正かつ効率的に行われるようにする。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
見直しの図られた事務事業数			事業	465	498	595					
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
健全な財政運営により公平・公正で効率的・効果的な事務事業が執行される。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
住民監査請求件数			件	1	0	0					

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	139	126	124					
	事業費計(A)	千円	139	126	124	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	123	消耗品費	126	消耗品費	124		
			備品購入費	16						
正規職員従事人数	人	3	3	3						
のべ業務時間	時間	2,697	2,589	2,589						
人件費計(B)	千円	10,494	10,203	10,203	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,633	10,329	10,327	0	0				

事務事業名	監査等執行事務	担当部	監査委員事務局	担当課	監査委員事務局	担当係	
-------	---------	-----	---------	-----	---------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和21年の地方制度の改革で独任制の監査委員制度が創設された。昭和22年の地方自治法の施行により、市の行政委員会の事務として位置付けられた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成9年の地方自治法改正により、チェック機能強化を目的に外部監査が制度化された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特段の意見、要望等はない。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	「現状維持により対象外」

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	政策体系外施策	理由・改善案 市長から独立した執行機関として、市の財務事務及び地方公営企業の事業管理の監視機関としての役割を担っている。また、監査の権能が十分発揮できるよう推進することにより、監査の資質の向上に繋がりが、公平公正及び効率的、効果的な行政運営を図ることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 監査委員及びその補助職員は地方自治法の制度として存在し、行政事務を直接行う執行機関とは別に、独立した監視機能を有する機関を設置することによって、行財政事務執行の適法性、妥当性を監視する事務を行わなければならないため妥当である。監査事務は法律で定められた事務であり、民間やNPO、市民団体などに委ねることはできない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 監査事務は予算の執行、現金出納、財産管理、事業管理などの適法性、妥当性を監視する制度であり、対象と意図は妥当である。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 地方自治法に基づく監査等執行事務であり、向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
削減の余地はない	理由・改善案 現状は最小限であり、削減の余地はない。	
総合 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 行政内部の事務であるため、受益者負担を求めるものではない。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
本事業は、地方自治法等に基づいており、法制度が改正され、不要となれば終了する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			